5. 提高观光地的品质

(1) 旅游的品质管理

〇中国于去年10月出台了反倾销等保护游客利益的旅游法。韩国也存在如下问题,即如何在确保商品质量及服务质量、保护游客的权利和游客购物的自由之间取得平衡。

(中国东营市、韩国京畿道)

○为提高旅游的质量,之前我们都是效仿欧洲的做法,我觉得今后将是我们东亚各国相互学习的时代。通过讨论观光地的品质、群策群力,可以提升东亚的品牌形象,提供让市场瞩目的品质。

(日本奈良县)

(2) 地区的真正价值、魅力

○奈良县内也有由女性企业家结成的努力拼搏的圈子。我觉得"在这片土地上共同努力"的想法很有号召力。我认为这种措施也是振兴旅游业的方式之一,希望行政部门为地区活化措施提供支援。

(日本奈良县议会)

〇从"还有价值"这一点上来看,农村地区的潜力、可能性是非常大的。长野县提出了"国际青少年交流农村宣言"旨在通过孩子们在美丽农村的交流来促进将来的交流。希望使美丽的农村价值更高。

(日本长野县)

○要让游客理解一个地区,将文化遗产作为旅游资源很重要。文化遗产不同于自然遗产,需要进行说明,因此需要了解历史。我认为东亚进一步认识、醒悟到历史的意义的日子已经到来。

(日本奈良县)



总结



山田 桂一郎 JTIC.SWISS代表、日本政府认定的旅游界顶级顾问

游客中的回头客,全是在顾客满意度调查中评价"非常满意"的游客。由于提高顾客满意度会带来提升销售额的效果,因此,必须不断通过问卷调查或访谈调查把握现状,深入挖掘游客的未来期待,并提供超越该期待的优质产品与服务。

政府在振兴旅游业中的作用是地区经营、地区管理及营销,其中,如何定位旅游业至关重要。要求不局限于旅游业,还要创造工商业与农林水产业等产业间的合作契机,最终开发出能够发挥地区优势的商品。

通过旅游业振兴地区经济,本地的产品在本地使用是大前提,同时还需要形成地区内的现款流转以及构建能够准确捕捉二次甚至三次经济波及效应的产业机制。这样,地区经济金字塔的面积就会扩大,进而通过面向富裕层提供服务,拔高金字塔的顶点,这有助于提振整个地区的经济。另外,与其他地区和组织合作时,需要确定共同的主题和概念等作为一起努力的基础,而不是简单的合作。

第三方评估是让游客认识到为提高质量所做的努力的一项指标。但是,评价系统终究只是方法和手段,重要的是要因地制宜地构建不断提高好评度的机制。

地方上都留有不少该地区古老而优秀的东西,地区孕育的文化,就是地区的固有之物。如果地区居民能够认识到其中的价值,并引以为豪,地区的本真就会活生生地呈现在人们面前,这有助于获得游客的好评。地区的优势能否成为产品非常重要。振兴旅游业,关乎地区居民的态度与立场。



 $_{
m 0}$

演示演讲



◆在地区振兴上行政领导的职责 一 领导应该做什么 一

Hank Lim 东亚东盟经济研究中心(ERIA) 学术咨询会议议长

2008年正式成立的ERIA, 此总部设在印度尼西亚的雅加达,参加国家有东盟10国及日本、中国、韩国、印度、澳洲、新西兰,共计16个国家。ERIA是针对东盟及东亚峰会的加盟国进行政策研究及提供政策建议的国际组织,在2013年的国际经济政策智囊团排名(182个国家的6826个团体参加)中,被评为第30位,属于顶级智囊机构。

ERIA的"纪念平城迁都1300周年亚洲国际人奖"是为表彰对东亚共同体形成做出贡献的成绩卓越的个人、团体而设,2012年第一届颁奖仪式在奈良县举行,第二届颁奖仪式预定今年12月举行。

在振兴地区过程中的行政领导能力必须具备以下3要素:①政治使命与公正性;②政治愿景、领导能力、行政效率;③政治、社会的稳定性及可持续发展的经济和所得的再分配。行政必须具备透明性、说明责任、法治、政府效率以及高品质规则。另外,为了使地区得以发展,除政府之外,公务员及行政、司法以及纠纷解决机制、民间部门、市民社会、媒体等制度及机构起着重要的作用。

与地区开发相关的政策中需要宏观经济政策、削减贫困、全社会的发展、稳定且大胆的政策。在考虑政策时,国家多立足于短期观点,但地方政府则可立足于长期观点,因此国家与地方进行平衡与再平衡后,形成良好的统治。协商与共识、纠纷解决机制、国家与地方的调整及相乘效果等也可称作地区振兴的政策要素。

今后,在全球化的同时,地区化也在进展中,国家与地方政府相互补充、协作攸关地区的安定、和平、繁荣。这个会议对东亚乃至世界发挥着重要作用,不局限于观光及教育的交流方面,从全球的角度关注和平、繁荣及全社会的经济发展也很重要。



◆世界旅游组织(UNWTO) 重点项目和伙伴关系

詹妮弗·斯坦格 联合国世界旅游组织(UNWTO)亚太中心 事业与宣传部部长

世界上每11个人里就有1个人参与旅游业,占世界GDP的9%,同时是与解决众多社会经济课题相关联的主要全球性产业。UNWTO作为旅游领域的主要国际机构,基于与东亚地方政府会议的奈良宪章同样的内涵,进行各种活动。

世界中的海外旅游人数正在大幅增加,1950年为2500万人,而2013年则达到10亿800万人。以前,欧洲占据了最大市场份额,但其市场份额趋于减少,而亚洲、太平洋地区的份额则在快速扩大。2010年前往亚洲、太平洋地区的旅客人数为2亿400万人,2030年估计将增加3亿3100万人,达到5亿3500万人。

UNWTO总部(西班牙马德里)为支持亚洲、太平洋地区旅游业的发展,于1995年在大阪设立 UNWTO亚洲太平洋中心,2012年迁至奈良。现在,UNWTO由156个国家和6个地区的会员以及400 余个预备会员(赞助会员)组成,作为经济成长、综合开发及环境可持续性的引领者,以促进旅游业 为使命。

UNWTO所采取的主要措施之一,是为支持提高旅游业的竞争力,向会员国家提供旅游市场动向分析、统计、危机管理等各种信息。由此在促进绿色、节能,减少贫困以及提供教育培训机会的同时,建立了对将来的动向牢记在心的合作关系。

预备会员(赞助会员)的网络作为UNWTO的先进措施,提供会员交换意见、交流创意的平台。该网络由热忱服务、运输、医疗、文化、娱乐、技术、研究等部门的全球、国家、地区、学术、公共及民间组织组成。由此可见,UNWTO正支持加盟会员为发展旅游业寻求新战略及政策。

预备会员的优势包括访问作为旅游统计信息源的国际数据及专业知识,以及参加旅游会议、宣传活动等。马德里(西班牙)的会员尝试开展的"Precious Time"活动,已经做出了旨在促进旅游业、增进相互理解、经济发展的官民合作范例。

希望该信息对参加东亚地方政府会议的地方政府有所帮助。

42 4.

代表记者招待会





荒井 正吾 奈良县知事

第五届东亚地方政府会议,这次迎来了来自7国41个地方政府人士的莅临参 加。本届会议的主要目的并非在干得出什么结论或做出什么决议,而是就共通 的课题交流意见。这次针对"振兴地区经济"、"城乡建设"、"振兴旅游业"这3大 备受瞩目的主题,由藻谷浩介先生、森地茂先生、山田桂一郎先生担任讲师,分 组展开了热烈的讨论。

我加入"振兴旅游业"小组,听取了各地区人士的意见,受益匪浅。从中我了解 到,所有话题都是各地区所面临的共通课题,同时也感受到了各地区积极努力 振兴旅游业的姿态。山田讲师还向我建议说: 是否可将这样的讨论和意见交流 作为小组活动今后继续开展。本届会议的目的在通过互相学习,提高各政府的

行政质量。在此,我对众多参会人士再次表示衷心的感谢。

参会地方政府代表团团长发表意见



印度尼西亚日惹特区-

Kristiana Swasti 妇女与地区强化委员会委员长

日惹特区是印度尼西亚34个行政区之一,拥有众多美丽自然、文化、美食等引以为豪 的旅游景点。请大家一定光顾,带上日惹的马肉等土特产而归。

在讨论的话题中,听到了日本出现人才短缺的问题。我们拥有精通日语、身怀技能的 人才,可以在派遣这种人才方面提供帮助。希望能够借本届会议之机做进一步的沟通。



马来西亚马六甲州 ———— Roslan Bin Ibrahim 开发担当州副部长

这次,我是第一次参加本会议,在会议上,我汇报了我们地区的活动举措,并参与了 精彩、充实的讨论。能够获得这样的机会,并且受到热情招待,我代表马六甲省政府对 奈良县的相关人士表示衷心的感谢。同时,也欢迎本届参会人员到我们马六甲州来。



韩国忠清南道 ——

HEO, Seung Woog 副知事

都说21世纪是东亚的世纪,以东亚为主体引领世界。在这样的时代,地方政府的作用 非常大,而本东亚地方政府会议的价值也正是在于此。

下一年度,我们将从荒井知事手中接过接力棒,积极研究在忠清南道举办类似这样 国内外地方政府聚集一堂的会议。同时,也希望有更多的国家踊跃参与。能够参加本届 会议,与各地方政府交流并共享举措的事例,这将成为忠清南道巨大的精神食粮。在 此,对参加本届会议的各位地方政府代表再次表示衷心的感谢。



越南承天顺化省

NGUYEN Dung

承天顺化省人民委员会副委员长

顺化市是越南的故都,是文化、历史、高端医疗与教育的中心。本届会议上,我参加了 "振兴旅游业"主题的讨论,关于地区合作与提高居民意识、地区资源的旅游商品化等 方面的讨论让我受益匪浅。同时,也让我懂得,提高旅游质量即提高居民的生活水平。

能够有机会参加如此精彩的会议,我表示衷心的感谢。我会努力将会议上听到的众 多意见与课题借鉴发挥到我们地区中。也希望今后还能得到这样的机会,互相交换意见。



日本山梨县

这次,我是第一次参加本会议。这样分为3大主题,借助同声传译开展讨论的大型国际 会议得以顺利组织实施,着实令我佩服。听说平城京曾是一个国际化城市,我感到奈良 的国际交流底蕴就是自那时开始形成的。

国家层面会因为各种外交问题,有时难以实现思想上的沟通,但地方政府层面不存在 这样的问题。其实,国家的外交形势越严峻,地方政府之间的交流与民间交流、基层国民 层面的交流就应该越活跃。从某种意义上来说,本会议是惯常举办的会议中唯一的地方 政府层面会议,希望今后为本会议的持续举办做出更大的努力。



藻谷 浩介 株式会社日本综合研究所调查部首席研究员

本届会议围绕"振兴地区经济"这一大主题,展开了令人感动的讨论,收获了累累硕果。尽管参会地方政府的情况各不相同,但共通课题之多着实令人惊异。

已经实现工业化的日本存在如何增加农业、林业、当地特色产业的附加价值的课题,这和现在正在摸索如何在推进工业化过程中应对地区农业与林业问题的东南亚的情况颇为相似。

另外,日本所面临的如何与地区物产相结合地推动观光产业化的课题,也与拥有悠久历史与传统工艺的东南亚各地区所面临的问题相通。东南亚为解决这一问题所采取的小额信贷措施,让日方参会者受益匪浅。

最后是如何保存地区特有的优势与传统的课题,日方参会者深切感受到,日本在经济高度增长期往往遗忘传统优势,而东南亚各国却是在充分兼顾的基础上推动发展。

来自海外的参会者也参观了已经发展就绪的奈良的情况,希望能够加以借鉴。



森地 茂 政策研究大学院大学政策研究中心所长

今天讨论的内容可归纳为三点。首先,在防灾方面,在尽量避免预料之外的事故的同时,如何增强发生意外时的应对能力,这已成为核心课题。对此,关键是县与市町村的协作方式。在这一方面,高知县、和歌山县及奈良县发表了各自的先进措施事例。

其次,在医疗和城乡建设方面,医疗机构的网络化、公共交通的维持很重要。城乡建设与医疗应如何结合,我认为奈良县的措施对于其他城市而言也是非常有借鉴意义的。

最后,关于文化、旅游资源在城乡建设中的应用方面,代表们发表了各种事例,并针对在今后落实的过程中,以应如何让居民及当地企业成为主体,或者县与市政府应如何分工及开展协作为焦点展开了讨论,各地方政府分别介绍了自己的经验。

与会地方政府各位纷纷表示,通过具体事例的发表获得了众多有益信息,本次会议意义深远。



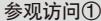
Ш⊞ 桂一郎 JTIC.SWISS代表、日本政府认定的旅游界顶级顾问

我们把振兴旅游业作为主题,针对地区旅游资源和地区优势的推销方法、与友好城市或与观光协会合作的应有方式、如何促进招徕外国游客、地区居民参与策划观光旅游对策等各方面问题交换了意见。作为讲师,我将重点放在了通过让参会的各位充分理解榜样的特点,将各地方政府的措施与意见带回去,以发挥借鉴作用。

不是说哪个地方政府做得很先进,每个地区所面临的课题根本上都是相同的,都具有共性,从这个意义上来说,本次的讨论意义非凡。另外,在各种各样的意见交流过程中,我本人重新认识到多样性的重要性。

通过讨论所有参会人员都形成了共识。那就是,旅游业不能只顾其作为地区商务获得收入的一面,还必须提高旅游质量,构建使地区社会富足和使地区居民幸福的机制。参加本主题讨论的成员都认识到,提高地区居民的生活质量让他们富裕起来,才是旅游

业的最大振兴,才能帮助振兴整个地区和城乡建设,并且一致表示要朝着这个目标而努力。我感到大家同心同德,凝成了一股绳。







欢迎宴会











地方政府介绍区





知事宴请























The 5th East Asia Local and Regional Government Congress

2014年10月29日(水)朝日新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Asahi Shimbun

日中韓など6カ国の40地

た「まちづくり」は政策中国・山東省などが参加

施策を学び合った。

県主催の「第5回東アジア地方政府会合」は28日

各国の地方自治体トップらが互いの

なく、質を高め、地域の幸をビジネスと捉えるのでは わたって議論した。 策や人材育成など広範囲に 経済の振興」 万政府が参加=表。 山田桂一郎さんは「観光。政府認定観光カリスマ 「観光振興」にはマレー 世界の豊かさにつなげ 「観光振襲」の三つの マラッカ州などが参 ルに分かれ、 「まちづく 公员

■参加した地方政府一覧

【中国】安徽省、山東省、潍坊市、東

【韓国】京畿道、忠清南道、公州市、 瑞山市、慶尚北道

【ベトナム】フートー省、トゥアテ ィエン・フエ省、ベッチ市

【インドネシア】 ジョクジャカルタ

【マレーシア】マラッカ州

【日本】青森県、福島県、新潟県、福 井県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、 京都府、和歌山県、鳥取県、島根県、徳島 県、香川県、高知県、奈良県、宮城県多賀 城市、新潟市、福岡県太宰府市、天理市、 橿原市、御所市、斑鳩町、明日香村、広陵

実」は日本総合研究所の藻加わった「地域経済の扱加わった「地域経済の扱いが、インドネシアのジョー 行役を務めた。2人は「高谷浩介さんが、それぞれ進

事情はまったく違うのに驚に直面する日本の自治体、 ある」と話した。 くはど共通の問題が多く 後の配者会見で韓国

・忠清南道の副知事は「21 世紀は東アジアの時代と言 也れ、持続可能な発展のた めに地方政府の役割は大き い。このような会合を、今度 マで開きたい 、荒井正

第5回 東アジア地方政府会合

6力国

後

紙面で紹介します) (栗田優美 浜田知宏)

(討議の詳しい内容は、) ごとに1年間継続して議論 し、総会で持ち寄るような 吾知事は「今後は、テ

経済の振興」 表が参加した。 奈良で開会式と首長レ 三条本町のホテル日航 深める第5回「東アジ 論を通じて相互理解を 6カ国40地方政府の代国66地方政府のうち、 する課題について、議 東アジア地域で共通 地方政府会合」 肘議テーマは「地域 行った。会員了力 総務・外務両省 「観光振興」の 討議な 奈良市



7地方政府会合の開会式であいさつする荒井知事 奈良市三条本町のホテル日航奈良

観光はこれからだと思う。きょう ぎる傾向があり、 マネジメントができて 持っているが、 は文化資源・文化財は 切磋琢磨(せっさたく る」と述べ、 もらって大変参考にな れぞれの地域で格闘. はない」と。自己批判 てなしがおろそか。 いない。お金を求め過 して模範的な観光地で た上で「東ア いる様子を聞かせて 観光の

首長ら課題を議論

東アジア地方政府会合

2014年10月29日(水) 奈良新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Nara Newspaper

する課題につ

地方政府会合東 ア ジ ア

観光など議論活発 荒井知事は「わが県 ンでは、 間会議議長とジェニフ 済研究センター 東アジア・アセアン れたプレゼンテ れたプレゼンテーショ 開会式に続いて行わ ・スタンガ国連世 ハンク・リム

部長が演壇に上がり、 館の大古事記展を観覧 会合の意義を述べた。 の正倉院展と県立美術 会合は27日に始ま 最終日のきょう29 奈良国立博物館

2014年10月29日(水)朝日新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Asahi Shimbun

フくり ベトナム、インドネシア、28日、奈良市で開かれた。 来月の紙面で紹介します) テーマに分かれ の計40地方政府が参加。 マレーシアを含めた6カ国 東アジア地方政府会合」 議論を交わした。 について話し合う「第5回 目治体関係者が共通の課題 地域経済の振興」 日中韓などアジアの地方 「観光振興」の各 「まち

東アジア地方政府会合の実務者討議

る参加者=いずれも奈良市首長討議を終え、記者会見す

52

2014年10月29日(水)毎日新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Mainichi Newspapers

東アジア地方政府会合

観光振興など議論

政策課題につ

2府県、10市町村のほ参加したのは国内の 八口減少対策などに

ついて話し合った。 自長らが参加し、観光 ジア地方政府会合 。6カ国、40地域の28日、奈良市であっ 興

議論する「第5回東

市)。地域経済の振興 む山田桂一郎氏を講師スで観光振興に取り組 ▽まちづくり▽観光 観光についてはスイ をテーマに協議

方政府が地域の東アジアの地 6カ国、40地域の首長ら ▽韓国 (3道、2市) ママレー か ▽インドネシア(1州) 中国(2省2市)

がる」と話した。 会見で「会合は行政の 質を高めることにつな 荒井正吾知事は記者 第5回 東アジア地方政府会合

記者会見する荒井正吾知事(手前左)ら 一奈良市内のホテルで

生き残るには「顧客満に招いて討議。山田氏 者は「観光政策は、政トナムのフエ省の代表 瓮 府や企業だけでなく 地域住民が積極的に える重要性を指摘。ベ 的に評価して施策を考 足度」を第三者が客観 しなければ」と訴

2014年10月29日(水)読売新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Yomiuri Shimbun

などの課題は共通してい 地域振興や住民福祉の向上 きな市でも小さな町でも、

2014年10月29日(水)日本経済新聞 Oct.29,2014 (Wed.) Nikkei

会」(奈良県主催)の首 ・ 1 の課題を話し合う「第 ・ 1 の課題を話し合う「第 ・ 1 の課題を話し合う「第 ・ 1 の課題を話し合う「第 長討議と実務者討議が28

東アジア地方政府会合 奈良で40自治体 経済振興を議論

奈良県の荒井正吾知事が 観光振興の分科会では がに売るのかが課題にない。 がに売るのかが課題にない。 山梨県の横内正明知事も

高めるという共通の目標 ら始まっ ら始まった。今回海外か同会議は2010年か

26自治体が参加した。 ら参加したのは中国、 -シアの14自 (ペインドネ

ひくり

「観光振興」

地域経済の振興

「まち の 3

は「政府レベルでは難した石原信雄元官房副長官 拠」をデ 日に奈良市で開かれた。 い問題もあるが、 わした。冒頭あいさつ 6カ国40自治体が参加 「まちづくり」 めるという共通の目標 へんでは (国は違って 「地域経済の振興 マに意見を交 「観光振

観光に転換し、リン 総がかりで地域の魅力を 重要だ」と指摘した。 客は来てくれ うな地域でなければ観光 静岡県副知事は「住民が る」と応じた。難波喬司 て日帰りしてしまう観光 を増やすか苦心してい んで良かったと思うよ

2014年10月30日(木) 産経新聞 Oct.30,2014 (Thu.) Sankei Shimbun

日本や東アジアの地方自日本や東アジアの地方自日本や東アジア地方政府会 5回東アジア地方政府会 5回東アジア地方政府会 5回東アジア地方政府会 7000円 1000円 共通の地域課題を討議

シア、韓国、ベトナムで国やインドネシア、マレーを4単編 ており、今年で5回目。中00年祭を機に毎年開催し 平成22年の平城遷都13

めて1年間議論した結果を 参加。荒井正吾知事は「各ーなどの幹部職員や首長が 行われた。 奈良県や -マを主導する地域を決 地域経済の振興」 ž

体がメン カ国6地方政府・自治

奈良 東アジア地方政府会合 第5日 第7ジア海内教育会会 Co Dr. Spot Add Autor and Supposed Granuscold

「富士山の5合目まで来

東アジア地方政府会合での討議結果につ いて会見する荒井正吾知事ら--奈良市

総会で報告してもらい、そ に発展性をもたせる考えを に発展性をもたせる考えを

地域振興議論 ア ジア

0)

奈良市内のホテルで開かれ ジア地方政府会合」が28日、 県主催の国際会議「東ア 奈良で国際会議 人が参加。

治体の約1 どらか国、40地方政府・ 興の3テーマで議論した。 地域経済の自立などについ の振興、まちづくり、観光振 り、今年で5回目。地域経済 た。中国やインドネシア (意見交換した。 平城遷都-300年を記 荒井知事は開会式で、「大 0年から始ま

参加者は3ケループに分る」と述べた。 幹部は「地元の自然を観光 商品にした取り組みなどを 成などについて意見を交わ 域経済を引っ張る人材の育 生かした観光客誘致や、 かれ、地域の歴史や文化を した。ベトナム・フエ省の

第5回東アジア地方政府会合@奈良

7カ国の66地方政府(自治体)が加入

2010年の平城遷都1300年を機に奈良県の呼びかけで始ま り、地方に共通する課題や振興策などを話し合ってきた。行 政能力を高め、国家間の外交を補いながら互いの友好関係を 探めるのが目標。現在、中国、韓国、ベトナム、フィリビ ン、インドネシア、マレーシア、日本の計66地方政府(自治

参加した地方政府 【中国】安徽省、山東省、瀬坊市、東 然市【韓国】京級道、忠清南道、公州市、瑞山市、慶尚北道 【ベトナム】フートー省、トゥアティエン・フエ省、ベッチ

【マレーシア】マラッカ州【日本】青森県、福島県、新潟

県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、京都府、和 歌山県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、高知県、奈良 県、宮城県多賀城市、新潟市、福岡県太宰府市、天理市、橿

原市、御所市、斑鳩町、明日香村、広陵町、下市町(以上、 奈良県) 【ミャンマー】マグウェイ地域政府(ゲスト参加)

市【インドネシア】ジョクジャカルタ特別州

国境越え 共に伸びる



まちづくり

観光の振興

べた。忠清南道のホ・スンウクベた。忠清南道のホ・スンウクベた。忠清南道のホ・スンウクベた。忠清南道のホ・スンウクベた。忠清南道のホ・スンウクベた。忠清南道のホ・スンウクで進める実現市の取り組みは異は探い」と評した。宮域県多賀城市の菊地雄次郎宮城県多賀城市の菊地雄次郎高姓は、JR線の高葉化で行き来がしやすくなったことや、2024年に迎える「多賀城創建13300年」に向けた南門の復元の試みを報告した。

した国同士の政策提携、交 の活用も必要だ」と述べ、 の活用も必要だ」と述べ、 の活用も必要だ」と述べ、 の活用も必要だ」と述べ、 を行







足運びたくなる理由 必要

実践的な講義をしてい の得在屋観光地」にへの得在屋観光地」にへの得在屋観光地」にへい、2年間を育てるため、2年間

◆この特集は東田優美、浜田知宏、太田康夫、伊藤菜々子(写真)が担当しました。

地域経済の振興

会合では地方自治の課題などが語られた

=いずれも、奈良市三条本町

少子化

で

日本、中国、韓国、ベトナム、インドネシア、マレーシアの40地方政府(自治体)の首長ら

が地方の課題を話し合う「第5回東アジア地方政府会合」(奈良県主催)が10月28日、奈良市

のホテル日航奈良で開かれた。観光や経済振興策について活発に議論した。

体)が加入している。



30年には

ジェニファ ・スタンガ氏

0)発展 地方が担 5

ハンク・リム氏



アジア太平洋センタ国連世界観光機関 ア 旅行者 急 増